

トヨタが実践する！ 利益を生み続ける工場の原価管理 ～原価改善活動を利益につなげる手法～

日時 2026年6月17日(水) 10:00～17:00
(9:30 受付開始)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

講師 土屋 幸洋 氏
豊田エンジニアリング株式会社 副社長

受講料 48,400円(資料含む、消費税込)

受講効果

- 【1】トヨタが実践する身近な生産現場で原価を見える化する活動が学べます。
- 【2】内製原価と現場管理費目、内製原価の構成・費目、変動・固定費の関係が理解できます。
- 【3】工場総費用管理のフレームワーク、工場総費用における変動費と固定費が学べます。
- 【4】原価低減の仕組みや在庫を低減する仕組みなどを収益向上につなげる方法が把握できます。

プログラム

1. 原価管理鳥瞰図

- 1-1 価格・原価・利益の関係式
- 1-2 原価管理鳥瞰図
- 1-3 全部署の参加で原価を作り込む活動

2. 経営指標と会社経営・工場運営

- 2-1 経営指標とTPSによるモノづくり
- 2-2 見える化マネジメント (Visual Management)
- 2-3 企業価値を上げ続ける活動

3. トヨタ生産方式(TPS)と儲ける力(原価への取組み)

- 3-1 トヨタ式を成立させる条件と継続的に利益を上げる会社の仕組み
- 3-2 生産計画(平準化)
- 3-3 整流化(シンプルで停滞のない工程編成)
- 3-4 自動化(自工程完結)
- 3-5 TPMマネジメント(設備の良品条件の維持管理)
- 3-6 ムダの削除(7つのムダ)
- 3-7 リードタイムの最適化
- 3-8 リードタイム短縮の効果
(リードタイム短縮と原価低減・収益向上)

4. 財務会計と管理会計の違い

- 4-1 財務会計
- 4-2 財務会計だけでは実体がわからない原価
- 4-3 トヨタ生産方式(TPS)と財務指標

5. 原価管理の導入

- 5-1 商品企画から量産までの流れ
- 5-2 利益計画から原価管理へ
- 5-3 原価維持と改善活動

6. 工場の内製原価(工場総費用管理について)

- 6-1 価格と原価
- 6-2 内製原価と現場管理費目
- 6-3 内製原価の構成
- 6-4 内製原価の費目(工場総費用原価の費目)
- 6-5 変動費と固定費、固定費と変動費の削減
- 6-6 直課と配賦
- 6-7 償却費

7. 工場総費用システム

- 7-1 原価維持・改善活動のフレームワーク
- 7-2 工場総費用管理のフレームワーク
(コストセンター)
- 7-3 工場総費用における変動費と固定費
- 7-4 各費目の区分
- 7-5 工場総費用システム
- 7-6 ショップ別管理

8. 工場の原価維持・改善

- 8-1 原価維持・改善活動のフレーム
(演習 経済性検討)
- 8-2 工場総費用製品別原価の位置付け

9. 製造現場の見える化(原価管理指標)

- 9-1 製造現場の7大任務
- 9-2 7大任務の見える化ボード
- 9-3 現場でできる使用量管理(基準に対する実績)
- 9-4 保全コストマネジメント

10. 工場經理のマネジメントと 原価マネジメントができる人財育成

11. 質疑応答

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせて頂く場合がございます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

